

団体名	鳥取県留学生交流推進会議						
事業名	鳥取県を学びの場とする鳥取フィールドスクール事業						
実施期間	2019年5月25日～2019年9月21日						
場 所	鳥取市、智頭町						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	46		33	37	10	18	144名

<実施内容>

①	5月25日(土)智頭町「ケニアに送るお米の田植作業」に留学生21名、日本人学生20名、教職員3名、地域住民32名(住民、森のようちえん園児と保護者)、鳥取西高校生徒・引率18名、合計94名が参加 交流会の内容 ・留学生の出身国や鳥取県についてのクイズ ・G-Frenzを中心に地域住民の方へインタビュー(アンケート)を実施
②	8月14日(水)「鳥取しゃんしゃん一斉傘踊り」に留学生25名、日本人学生13名、教職員7名、地域住民5名、合計50名が参加

<記録写真>



地域の人に教わりながら田植えに挑戦



田植え後に記念写真



しゃんしゃん祭り

<参加者からのコメント>

ジョンオ ティエノ オディアンボさん(ケニア)
/JOHN OTIENO ODHIAMBO

私は2018年10月から日本に滞在しており、鳥取大学国際交流課が企画・参画する留学生向けのイベントにいくつか参加していますが、その一部が田植えイベントでした。
私は農業を主産業とする国から来ましたが、これまで米を植えたり収穫したりしたことはありませんでした。ですから、特に田植え技術やチームワークをこのイベントをとおして見ることができたことは特別な経験となりました。
田植え作業に加えて、その後の餅つきもとても楽しかったです。いつかまたこれをやりたいです。結論として、これはアフリカの孤児を支援するためにもこれからも継続してほしいプログラムです。

DESTIA NURUL FAIZAHさん(インドネシア)
/DESTIA NURUL FAIZAH

8月14日、鳥取で一番大きなお祭り「しゃんしゃん祭り」に参加しました。鳥取大学の留学生と日本人のチーム「鳥取大学インターナショナル踊り子隊」のメンバーとなり、6月から8月まで練習を重ねてきました。踊りは難しかったけれど、4つの踊りを全部覚えて本番でみんなと一緒に踊れたことは、留学中の中でも良い思い出になりました。踊りの練習を通して他の留学生や日本人学生ととても仲良くなれました。私はインドネシアに帰ったら、このしゃんしゃん踊りを友達に教えてあげたいです。そして、母校のハムカ大学の大学祭「春祭り」でも紹介したいです。